

佐世保市の財政を圧迫する石木ダム建設を中止し、 漏水対策に徹底的に取り組むことを求めます。

佐世保市長 朝長則男 様
佐世保市水道局長 吉村敬一 様

市民ネットワークさせぼ
石木川まもり隊

水道料金を来年4月から現行の27.35%、2012年からはさらに2%アップの29.35%値上げする水道条例改正案は、先の9月議会で継続審査となりました。水道局は、料金値上げの主な理由に、「漏水対策として市民に節水をお願いした結果、料金収入が減少したこと」「老朽化した施設整備費の増加」などを挙げています。大幅な値上げ案に驚き、怒りに火をつけられた市民は、水道局に対する不信感をつのらせています。

改正案を審査する企業経済委員会は、無視できない市民の怒りを背景に、真剣で活発な議論を展開しました。「一般会計から予算を繰り出すことで値上げ幅を圧縮できないか」との質問に、出席を求められた川田副市長は「検討する時間を」と答えるのがやっとでした。また、「石木ダムの負担金が重すぎて資金不足の一因ではないか」との質問に、吉村水道局長は「少なからず影響がある」ことを認めました。

委員会に提示された資料は、平成26年度に向けて石木ダム建設関連事業費の支出が年々急増していくことを示しています。これまで石木ダム関連事業費と水道料金あるいは水道事業経営との関連については十分な説明がなされていません。しかし、ここに来て、莫大なダム建設事業費の支出が大幅な料金値上げにつながり、水道事業経営を危機に陥れ財政を圧迫していることが明らかになってきました。

その石木ダムは、佐世保市への利水を主な目的に建設されようとしています。

水道局は、過大な水需要予測（将来、どのくらい水を使うかという予測）を石木ダムの必要性の根拠にしています。ところが、水の使用量は毎年少しずつ減っているのが現実です。一方で、1日に約10,000 m³もの漏水があります。この漏水が改善されれば佐世保市の水事情は一気に好転します。今、水道局には、「漏水対策」に徹底的に取り組むことが求められています。

佐世保市の水は足りています。石木ダムは必要ないダムです。

住 所	氏 名

※頂いた署名は集約後、佐世保市長に提出します。それ以外の目的には使いません。

集約先 石木川まもり隊 〒857-0834 佐世保市潮見町1-30-1311 松本方 TEL.050-6621-1183